



◀ 植木市全景

郷土の清掃浄化、郷土の緑化、自然の保護を柱として四十七年度からはじまったこの運動は、県民各方面の賛同と協力を得て、着実にその成果を上げ、三年目を迎えました。先に開かれた四十八年度の「美しい熊本づくり推進県民大会」では、美しい熊本づくり運動実践に功労のあった個人六人、十団体と河川美化実践に功労のあった個人一人、五団体の表彰を行い、街頭では、民間商社の人々によってサルビアなど春まき草花の種子約二十万袋を街行く人々に配布するなどして運動を呼びかけました。また、恒例の植木市会場では、コスモスの種子二十七リットルを寄贈した熊本市池田町の米村伊太郎さんに花の銀行頭取になつてもらいました。

県ではこれからも「緑の総量をふやそう」、「美しい自然を子孫に残そう」、「ごみを捨てない・つくらない」をスローガンに強力に重点事業を推進してまいります。

美しい熊本づくり運動



▲48年度美しい熊本づくり功労者(団体)表彰の一コマ

▼県民大会のあと街頭ではフラワー・ガールも出て花の種子を街行く人に配布



◀ 沢田知事から花の銀行頭取のバッチをつけてもらう米村伊太郎さん